



生涯学習センターだより

2022. 4 月号 (2022 年度第 1 号 : 通巻 34 号)

発行: 秋田県生涯学習センター

「学び」を深め、楽しむ「気づき」

所長 倉田 寛行



「学び」の第一歩は、日常生活の中での様々な「気づき」の体験から始まります。それが積み重なる「気づきと楽しみの連鎖」は、ウェルビーイングを目指す上で不可欠な要素だと言えるでしょう。

私は以前、当センターの防災×アウトドアの講座に参加しました。メスティンで作るオムライスがとてもおいしく、感激したことを覚えています。料理は段取りの仕方ですることがわかるとともに、災害時こそ、心身を整え、活力を得るために、食事の時間が重要であることに気づきました。また、車椅子による「街歩き」研修では、障害のある方の目線から道路の段差や勾配がいかに危険かを体感しました。そして、改めて介助の必要性にも気づきました。このような体験から得たことは、今も鮮明に記憶され、似たような状況で適切な判断・行動をする勇気の源になっていると思います。

生涯学習センターでは、あらゆる機会に、いつでも、どこでも、皆様にとって安心な「個別最適化された学び」ができるように配慮してまいりますので、スマートカレッジをはじめ、各種講座・研修等にお越しくださいれば、幸いです。オンライン参加ができる講座・研修もご用意しています。

今年度もどうかよろしくお願いいたします。

新任者紹介

令和4年度の新任者を紹介します。



所長	倉田 寛行	秋田県立秋田高等学校より
副所長	浅利 宏	秋田県立西目高等学校より
主査	杉本 未緒 [総務班]	秋田市立川尻小学校より
主事	高橋 美咲 [総務班]	秋田県次世代・女性活躍支援課より
社会教育主事	佐藤 隆道 [学習事業班]	由利本荘市立新山小学校より
主査(兼)社会教育主事	戸島 毅 [学習事業班]	秋田県立農業科学館より

今年度は、総務班 5 名、学習事業班 1 2 名、社会教育アドバイザー 1 名、学習相談員 2 名、シニアコーディネーター 1 名の体制で、各事業・業務に取り組めます。

令和4年度秋田県生涯学習センターの事業について

～3機能の有機的ネットワークによる地域及び現代的課題解決へのアプローチ～

秋田県生涯学習センターは、本県生涯学習及び社会教育推進の中核機関として、県民の生涯にわたる学習活動を支援するとともに、関係職員の資質向上を図り、市町村及び関係機関団体との連携・協働による『「学び」と「活動」の橋渡し』に努め、持続可能な地域づくりの実現に寄与します。

シンクタンク機能

「障害者の生涯学習」に関する調査研究の推進

- ①調査研究の推進・充実
 - 「障害者の生涯学習」に関する調査研究（4年次）の推進
 - ・市町村との協働による、障害者の生涯学習充実のための仕組みの考案
 - ・啓発リーフレットの活用
 - 社会教育状況調査の実施
- ②民間企業や大学等との連携
- ③運営委員会の開催

研修・人材育成

「持続可能な地域づくり」を目指す研修・支援の推進

- ①研修事業の推進
 - 地域課題や現代的課題(障害者の生涯学習・防災等)の解決に迫る関係職員研修の充実
 - ・新任職員
 - ・市町村職員
 - ・公民館等職員
 - ・家庭教育支援指導者
 - ・学校・家庭・地域連携事業関係者
 - ・県生涯学習・社会教育研究大会
- ②市町村等の課題解決に向けた取組への支援
 - オーダーメイド型社会教育主事派遣(4年次)の推進
- ③生涯学習団体への支援

学習活動・情報発信

県民の生涯学習機会と学習情報発信の充実

- ①県民の生涯学習機会の充実
 - 地域課題や現代的課題に迫るあきたスマートカレッジの充実
 - ・カレッジ講座の実施
 - ・単位認定
- ②学習活動等の情報発信の充実
 - 生涯学習情報紙及び生涯学習支援システムによる情報発信
 - ・生涯学習情報紙の発行
 - ・生涯学習支援システム「まなびサポート秋田」の掲載情報の充実
- ③展示スペースの活用促進
- ④「ブルーの窓口」での相談業務
- ⑤県庁出前講座の実施
- ⑥障害者スポーツスペースの活用
- ⑦視覚教育の充実
- ⑧施設利用の促進



今年度事業の重点事項

今年度の当センター事業のうち、3機能にもとづく重点事項を紹介します。



1 シンクタンク機能 調査

【「障害者の生涯学習」に関する調査研究（4年次）の推進】

年間テーマ：「障害者の生涯学習」の推進とつながりづくり

～連携・協働や学びの場を創る実践に向けた仕組みの考案～

今年度は、障害の有無に関わらずともに学ぶことができる学習プログラムを開発し、それをさまざまな人に周知し、実践につなげていく一連の仕組み（パッケージ）を考案します。そのために、当センターとの協働による研究に参画する市町村（1～2程度）を募ります。

- ◎ 昨年度作成の共生社会の実現に向けた理解促進リーフレット（右上）を御覧・御活用ください。
- ◎ あきたスマートカレッジでは、「障害者の生涯学習」に関する理解促進に向けた学習講座を実施します。



2 研修・人材育成機能 研修

【生涯学習・社会教育関係者研修】

年間テーマ：持続可能な地域づくりに向けて ～ゆるやかなネットワークによる社会教育の充実～

持続可能な地域づくりを目指して、市町村主管課職員、公民館等施設職員、県関係職員といった主な対象のほか、生涯学習奨励員、学校関係者、地域学校協働活動推進員等にも参加いただける研修を開催します。本県のみならず全国的な生涯学習・社会教育における潮流を把握するとともに、現代的課題へのアプローチについて考えることのできる研修です。

- ◎ 今年度は、「熟議のファシリテート」「障害者の生涯学習についての取組」「公民館の防災」を各回テーマとして取り上げます。

【家庭教育支援指導者等研修】

※会場はすべて、秋田県生涯学習センター

研修の観点：①子ども・保護者理解 ②チーム活動の促進 ③支援体制の工夫
④現代的課題へのアプローチ

社会全体で家庭教育を支援する必要性が高まる中、県教育委員会では、すべての保護者が安心して家庭教育を行うことができるよう、地域人材を中心としたチームで家庭教育を支援する「家庭教育支援チーム」の組織化を推進しています。本研修は市町村において家庭教育支援チームの中核となるリーダーと、地域の人材として活動するサポーターを養成する研修です。

- ◎ リーダー、サポーターともに、研修を通して条件を満たした方に修了証が交付されます。

【オーダーメイド型社会教育派遣事業（4年次）】

市町村、学校等の課題解決に向け、要望先にセンター職員が出向き、要望先の職員と協働・研究して課題解決に取り組みます。

- ◎ 学校運営協議会制度や地域学校協働活動の円滑な推進、導入に向けた準備、研修の在り方等を主な課題として取り組み、一定の成果を挙げています。

3 学習活動推進・情報発信機能 講座

【あきたスマートカレッジ】

開講講座：新たな学び講座 [Aクリエイティブ編 Bチャレンジ編 Cトライアル編]

D障害のある方の学び Eあきた教養講座（有料）

F東大史料編纂所協力講座（有料） G北条常久特別企画講座（有料）

どなたでも参加できる総合的な生涯学習講座です。現代的課題・地域課題を知るとともに、県民の地域理解と社会参加を促進する学びの機会を提供します。

- ◎ 各講座とも、開催日の14日前までに申込みください。（郵送の場合は、14日前の消印まで有効）
- ◎ 有料講座（1回440円）は、期限までに受講料を納入済みの方が受講できます。



◎当センター1階のさんが、5月で100回目の活動を迎えます。謹んでお喜レストラン・エミールび申し上げます！！
◎令和5年度の「展示スペースの利用」を募集中です。皆さんの生涯学習の成果披露に御活用ください。

これにより、現在、当センターに食事をとれる施設はありませんので、昼食に際しては御注意ください。

◎当センターを利用している俳句の会の「美の國句会」

【問合せ】 秋田県生涯学習センター

〒010-0955 秋田市山王中島町1-1

電話 018-865-1171 F A X 018-824-1799

Eメール sgcen002@mail2.pref.akita.jp